
**User's
Manual**

**DP410
DAQOPC DARWINシリーズ用
OPCサーバ
インストールマニュアル**

はじめに

本書は、DAQOPCをインストールする手順、設定項目について説明しています。ご使用前にこのマニュアルをよくお読みいただき正しくお使いください。お読みになったあとはご使用時にすぐにご覧になれるところに大切に保存してください。

DAQOPCの機能や操作方法については、「DP410 DAQOPC DARWINシリーズ用 OPC サーバユーザーズマニュアル」をご覧ください。

ご注意

- 本書の内容は、性能・機能の向上などにより、将来予告なしに変更することがあります。また、実際の表示内容が本書に記載の表示内容と多々異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

商標

- Microsoft, MS-DOS, およびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- AdobeおよびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- その他、本文中に使われている会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本文中の各社の登録商標または商標には、TM, ®マークは表示していません。

履歴

- 2001年3月 初版発行
- 2001年8月 2版発行
- 2005年3月 3版発行

ご使用にあたっての注意

- CD-ROMの保管について
お買いあげいただいたオリジナルCD-ROMは大切に保管してください。実際の作業では、ハードディスク上にインストールしてご使用ください。

- 遵守事項
 - ・ 使用制限
お客様は、当製品(本ソフトウェアと本書)を、同時に複数のコンピュータで使用することはできません。また、複数の使用者によって使用することもできません。

 - ・ 譲渡および貸与の禁止
当製品を第三者に譲渡すること、および貸与することを禁止します。

 - ・ 保証
当製品を開封した時点で、オリジナルのCD-ROMまたは本書に物理的な欠陥がある場合、当製品をお受け取りになってから7日以内のお申し出に限り、無料で交換いたします。

 - ・ 免責
当社は、当製品を開封した時点で、オリジナルのCD-ROMまたは本書に物理的な欠陥がある場合を除き、いかなる保証もいたしません。また、当製品の使用に関して、直接または間接に生じるいっさいの損害について、責任を負いません。

 - ・ 著作権
CD-ROMに含まれるプログラムの著作権は当社に帰属します。

目次

ご使用にあたっての注意	ii
1 インストールする前に	1
2 インストールの流れ	2
3 Windowsの設定	3
4 DAQOPCのインストール手順	10
5 再インストールまたは追加インストールをするときの注意事項	11
6 無停電電源装置ソフトウェアの使用上の注意	12
7 Windows画面のプロパティの運用	13

1 インストールする前に

用意するもの

DAQOPCのCD-ROMを用意します。

ハードウェアの準備

DAQOPCをインストールするために必要なメモリとハードディスク容量は次のとおりです。

- 仮想メモリのページングファイルサイズ

主記憶と仮想メモリを加えた大きさが400Mバイト以上になるように仮想メモリのサイズを設定します。

- ディスクの空き領域サイズ

DAQOPCをインストールするためには、インストール先のドライブに1Gバイト以上の空き領域が必要です。

インストールする前の注意

YOKOGAWA製ExaopcとDAQOPCは同じPCにインストールしないでください。

DAQOPCがインストールされたPCにDAQOPC DARWINシリーズ用OPCサーバをインストールする場合は、同一フォルダにインストールしてください。また、DAQOPC DARWINシリーズ用OPCサーバR3.01をインストールする場合は、同一フォルダにインストールされているDAQOPCもR3.01にしてください。お守りいただけない場合は、DAQOPC DARWINシリーズ用OPCサーバおよびDAQOPCの動作は保証いたしません。

2 インストールの流れ

次の要領でDAQOPCをインストールします。

動作条件

- ・ EthernetアダプタとTCP/IPが必ずインストールされていること
- ・ 次のサービスパックがインストールされていること
Windows 2000 : SP3, SP4のいずれか
Windows XP Professional : SP1, SP2のいずれか

Windowsの設定

DAQOPCインストール前にWindows側を設定します。「3 Windowsの設定」を参照してください。

DAQOPCのインストール

- ・ DAQOPCのインストールを行います。「4 DAQOPCのインストール手順」を参照してください。
- ・ この操作によって、Windowsにユーザ名「DAQOPCUSER」ができます。初期パスワードは「DAQOPCUSER」です。パスワードの期限は「無期限有効」に設定されません。

DAQOPCをネットワーク経由で使用する場合の設定

- ・ この操作は、OPC機能をネットワーク経由でDAQOPCをインストールしていないPCから使用する場合に必要になります。
- ・ OPC機能をクライアントマシンで使用する場合は、OPCサーバをインストールしたマシン(サーバマシン)と、クライアント側のマシン(クライアントマシン)とで以下の操作をしてください。
 1. フォーマット済のフロッピーディスクをサーバマシンのドライブに挿入します。
 2. エクスプローラなどから(インストールフォルダ)¥Program¥ZOPMKEXAFDC.exeを起動します。
 3. 「OK」ボタンを押します。この結果、クライアントセットアップディスクが作成されます。
 4. クライアントマシンにAdministrator権限を持ったユーザ名でログオンし、ドライブにクライアントセットアップディスクを挿入します。
 5. クライアントセットアップディスクの中にあるsetup.exeを起動します。この結果、ユーザアカウントが作成されます。

以降、Windowsを起動すると、DAQOPC機能が利用可能状態となります。

3 Windowsの設定

DAQOPCインストール前のWindows側の設定事項を説明します。

本節では、Windowsとサービスパックのインストールは、すでに終了しているものとします。

FATをNTFSに変換する

FATでフォーマットされているパーティションの場合、NTFSに変換する必要があります。

以下にファイルシステムを確認する方法と、FATをNTFSに変換する方法について説明します。

1. エクスプローラで、ローカルディスクのフォルダを右クリックします。
ディスクのプロパティが表示されます。
プロパティでファイルシステムが「FAT」であることが確認されたら、以下の手順に進みます。
2. Windowsの**スタート>プログラム>アクセサリ>コマンドプロンプト**を選択します。
コマンドプロンプトウィンドウが表示されます。
3. 以下のコマンドを入力します。
CONVERT (ドライブ名) :/FS:NTFS
(例)
CONVERT C: /FS:NTFS
NTFSへの変換が開始されます。

以下のメッセージが表示された場合は、「Y」を入力したあと、PCを再起動してください。

「CONVERTで[ドライブ文字]への排他的アクセスを実行できないため、現時点では変換できません。次回のシステム再起動時にドライブの変換をスケジュールしますか(Y/N)?」

仮想メモリのページングファイルサイズ

仮想メモリサイズは、400MB以上に設定してください。

1. 「Administrator」でログオンします。
2. **コントロールパネル>システム**を選択したあと、「詳細」タブページの、「パフォーマンスオプション」ボタンの仮想メモリの項目にある「変更」をクリックします。Windows XPの場合は、**コントロールパネル>システム**を選択したあと、「詳細設定」タブページの「パフォーマンス」ボタンをクリックします。表示されたパフォーマンスオプションダイアログボックスで「詳細設定」タブページの「仮想メモリ」にある「変更」ボタンをクリックします。仮想メモリダイアログボックスが表示されます。

仮想メモリ

ドライブ (D) [ボリューム]	ページングファイルのサイズ (MB)
C :	
D : [WIN]	96-128
E :	

— 選択したドライブのページングファイルサイズ —

ドライブ: D : [WIN]
 空き領域: 1103MB
 初期サイズ (MB) (I) :
 最大サイズ (MB) (X) : 設定

— すべてのドライブの総ページングファイルサイズ —

最小限: 2MB
 推奨: 75MB
 現在の割当て: 96MB

— レジストリサイズ —

現在のレジストリサイズ: 3MB
 最大レジストリサイズ (MB) (R) :

OK キャンセル

3. 「初期サイズ」, 「最大サイズ」に、それぞれ同じ値を入力したあと、「設定」をクリックします。
Windowsの起動ドライブの空き領域が不足する場合は、別のドライブと合わせて400MB以上になるように設定します。
4. 設定値を確認したあと、「OK」をクリックします。

Windows XPインストール時の注意事項

DAQOPC R3.01以降はWindows XPでも動作します。

Windows XP上で動作するためには、インストール時に注意すべき事項および、設定項目があります。

● ユーザー名の設定について

プレインストールPCの初回起動時の設定や、OSのインストール時に、ユーザアカウントを作成する旨のダイアログボックスが表示されます。ここで、ユーザ名として、「DAQOPCUSER」を指定しないでください。DAQOPCをインストールすると自動的に「DAQOPCUSER」のユーザ名が作られます。誤って、「DAQOPCUSER」をユーザ名に指定した場合は、一度「DAQOPCUSER」を削除して、DAQOPCを再インストールしてください。

● Administratorのパスワード

プレインストールされた汎用PCでは、Administratorのパスワードが設定されていないことがあります。コンピュータ管理者は最初に必ずパスワードの設定状態を確認し、未設定の場合は必ず設定してください。パスワードが設定されていないと、一部ソフトウェアのインストールができない、動作ログの保管がされないなど運用上、管理上で様々な制約を受けることになります。

● Windows XP Service Pack 2

DAQOPCをインストールするPCがWindows XP Service Pack 2の場合は、ファイアウォール機能の無効設定などの作業が必要です。

Windows XPインストール後の設定項目

DAQOPCをインストールする前に以下を設定、確認してください。

● 電源管理

DAQOPCでは、スタンバイ状態は使用しないでください。Windows XPでは、設定によりスタンバイスイッチを無効にすることが可能です。設定方法を以下に示します。Administratorでログオンしてスタート>コントロールパネル>パフォーマンスとメンテナンス>電源オプションを選択して表示される、「電源オプションのプロパティ」から以下を必ず確認し、設定してください。ただし、以下の説明の項目には、コンピュータの構成により項目が表示されないものがあります。表示されていない場合は、機能自体が無効になっています。

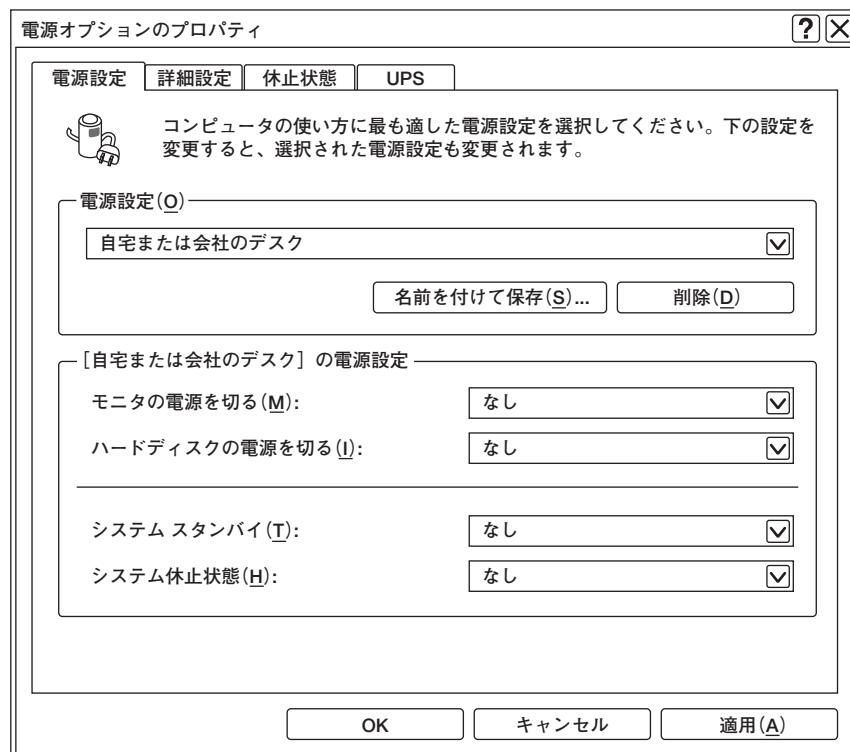
・ 電源設定タブページ

下記の設定は必須です。スタンバイや休止状態は必ず無効化してください。

ハードディスクの電源を切る：なし

システムスタンバイ：なし

システム休止状態：なし



- 詳細設定タブページ

PCのキーボードによっては、スリープボタン付きのものがあります。これを押した際の動作を「電源ボタン」の設定で無効化します。

コンピュータのスリープボタンを押したとき：何もしない

電源オプションのプロパティ

電源設定 | 詳細設定 | 休止状態 | UPS

使用する省電力設定を選んでください。

オプション

- アイコンをタスクバーに常に表示する (S)
- スタนด์バイから回復するときにパスワードの入力を求める (P)

電源ボタン

コンピュータの電源ボタンを押したとき (E):
シャットダウン

コンピュータのスリープボタンを押したとき (N):
何もしない

OK キャンセル 適用 (A)

- 休止状態タブページ

休止状態を有効にする：チェックなし

電源オプションのプロパティ

電源設定 | 詳細設定 | 休止状態 | UPS

休止状態になると、コンピュータはメモリ上にあるものをすべてハードディスクに格納してからシャットダウンします。休止状態が解除されると、コンピュータは以前の状態に戻ります。

休止状態

- 休止状態を有効にする (H)

休止のためのディスク領域

ディスクの空き容量: 7,413 MB
休止状態にするために必要なディスク領域: 256 MB

OK キャンセル 適用 (A)

Windows 2000 SP3前提条件ソフトウェアのインストール

前提条件ソフトウェアとは、DAQOPCが動作するために必要なソフトウェアです。また、用途(例えば長期連続運転など)に応じて前提条件ソフトウェアを適用しなければならないソフトウェアもあります。前提条件ソフトウェアは使用するOSなどにも依存するので、インストールの際には注意事項を必ず確認してください。

● 前提条件ソフトウェアの概要

前提条件ソフトウェアでは、Windows 2000の497日問題に対応するためのソフトウェアを提供します。インストールはService Pack 3のインストール後に、Setupを起動して行います。

● 注意事項

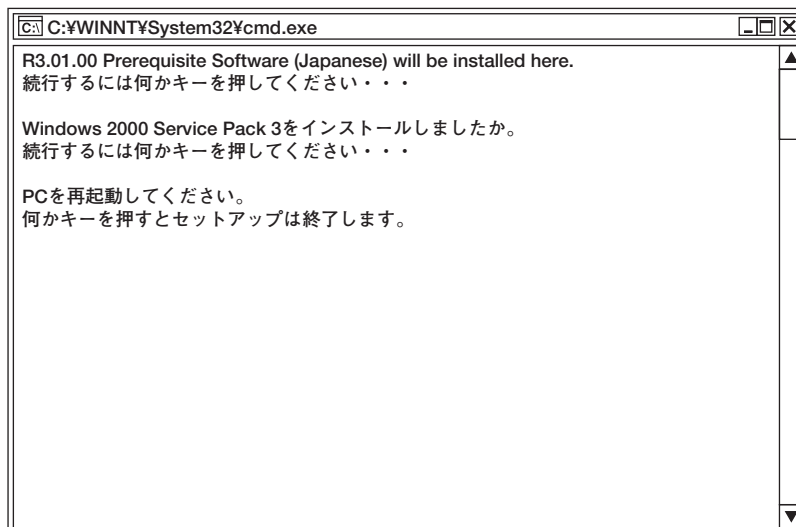
インストール時の注意事項について説明します。

- ・ 前提条件ソフトウェアは、Windows 2000 Service Pack 3のみに適用します。Windows XPには適用しないでください。
- ・ Windows 2000 Service Pack 3がインストールされていることを確認してください。
- ・ Windows 2000 Service Pack 4では、本ソフトウェアは不要です。

● インストール手順

以下に、前提条件ソフトウェアのインストール手順について説明します。

1. Administratorでログオンします。
2. ソフトウェアCDをドライブにセットします。
3. 以下のSetupをダブルクリックします。
(CD-ROMドライブ):¥EXA¥W2K¥COMMON_EXA¥JAPANESE¥Setup.bat
4. モニタに表示される内容に従ってインストールします。
インストール時には以下の内容を確認します。
 - ・ インストールが開始されている(和文版、英文版の確認を含む)
 - ・ Windows 2000 Service Pack 3がインストール済みである
5. インストールを続行する場合はリターンキーを押します。
インストールを中止する場合はウインドウの右上にある「閉じる」ボタンを押します。
インストール終了時には、PCの再起動を促すメッセージが表示されます。
6. 何かキーを押します。セットアップが終了します。
インストールウインドウを以下に示します。



7. PCを再起動します。

Windows 2000インストール後の設定項目

● 電源管理

この設定はWindows2000の場合の設定です。

節電機能は設定しないでください。

節電機能を使用して、ハードディスクの電源を切ったり、休止状態にすると、DAQOPCが正常に動作しません。

節電機能には以下のものがあります。

- ・ ある一定時間以上PCを操作していないときにCRTやハードディスクの電源を自動的にOFFにする
- ・ PCを休止状態とする

電源管理の設定は次のようにして参照できます。ただし、設定の変更には、Administratorの権限が必要です。

Note

各設定の詳細は、Windowsのヘルプを参照ください。

1. スタートメニューの**設定>コントロールパネル**を選択します。
2. 「電源オプション」をダブルクリックします。
「電源オプションのプロパティ」が表示されます。
3. 「電源設定」タブページの「ハードディスクの電源を切る」の設定が「なし」であることを確認します。
4. 「休止状態」タブページの「休止状態をサポートする」がチェックされていないことを確認します。

Windows 2000 Server使用の場合

WindowsサーバPCを使用する場合は、Windows 2000 Serverを使用できます。

● Windows 2000 Serverインストール時の設定

サーバPC設置後、Windows 2000 Serverを該当PCにインストールします。

その時、設定する項目について説明します。

Note

Windows 2000 Serverの詳細インストール手順については、Windows 2000 ServerのインストールCD-ROMに同梱の説明書を参照してください。

選択項目は以下の通りです。

- ・ ライセンスモード
接続クライアント数モードを選択します。
- ・ サーバの種類
スタンドアロンサーバを選択します。

● Windows Serverネットワークの設定

この設定は、Windows 2000 Serverインストール後に行うことができます。

手順は、Windows 2000 Professionalと同様です。

インストール途中で、Microsoft Internet Information Serverのインストールについてダイアログが表示されますが、この時点でインストールを行う必要はありません。

● サーバの構成

Windows 2000 Serverでは「Windows 2000 サーバの構成」を行う必要があります。Windows 2000 Serverをインストールすると、「サーバの構成」が最初のログオン時に表示されます。管理ツール>サーバの構成で表示することもできます。

DAQOPCでは、ワークグループ環境での使用が標準です。「このサーバーを後で構成します」を選択し、ネットワーク環境はWindows 2000 Professionalと同様に設定してください。

4 DAQOPCのインストール手順

DAQOPCをインストールする前に

DAQOPCのインストールを開始する前に、以下の確認をしてください。

1. PCを再起動します。ウイルスチェッカーなどの常駐形プログラムが動作している場合には、動作しないように設定してから、PCを再起動します。

DAQOPCのインストールの操作手順

DAQOPCをインストールするにはシリアル番号が必要です。あらかじめシリアル番号をご確認ください。シリアル番号は、CDケースの表面に記載されています。

1. PCを再起動します。ウイルスチェッカーなどの常駐形プログラムが動作している場合には、動作しないように設定してから、PCを再起動します。
2. Administratorの権限があるユーザでログオンします。
3. すべてのアプリケーションプログラムを終了します。
4. DAQOPCのCDをCDドライブに挿入します。インストールのプログラムが自動的に起動します。
5. 画面に表示される指示に従ってインストールを進めてください。

CDを挿入してもインストールのプログラムが自動的に起動しない場合は、以下の操作を行ってください。

6. [マイコンピュータ]のCDのアイコンをダブルクリックして、CDドライブのウィンドウを開きます。
7. ルートディレクトリにある[setup.exe]ファイルをダブルクリックして、インストールのプログラムを起動します。

DAQOPCのレビジョンアップについて

DAQOPC R3.01以前のものについては、アンインストールすることができません。DAQOPCをR3.01に変更する際は、OSのインストールから再度実行してください。

5 再インストールまたは追加インストールをするときの注意事項

DAQOPCを再インストールまたは追加インストールする場合、以下の注意が必要です。

DAQOPCをインストール後に、TCP/IPプロトコルを削除してしまった場合、TCP/IPプロトコルを再インストール(Windowsサービスパックの再インストールも含む)し、DAQOPCをアンインストールしたあと、再度インストールしてください。

6

無停電電源装置ソフトウェアの使用上の注意

DAQOPCを動作させるPCで、無停電電源装置(UPS)を使用して、停電発生時にWindowsをシャットダウンさせるような場合、シャットダウン動作に入る前に、以下のコマンドを実行するように設定してください。

(インストールフォルダ)¥exaopc¥Tool¥ZOCEXASTOP.EXE

このコマンドを実行せずにシャットダウンが実行されると、プログラムが異常終了する可能性があります。

7 Windows画面のプロパティの運用

DAQOPCを安定して動作させるために、以下の環境設定をしてください。

● 壁紙

画面の表示色の乱れを発生させる可能性があるため、壁紙は使用しないでください。以下の操作で壁紙「なし」に設定できます。

1. 「DAQOPCUSER」で、ログオンします。
2. スタートメニューの**設定>コントロールパネル**を起動します。
3. 画面を選択し、「画面のプロパティ」を開きます。
4. 「背景」タブページの「壁紙」で、「(なし)」を選択し、「OK」をクリックします。

● スクリーンセーバー

スクリーンセーバー起動時に、一時的なCPU負荷上昇が起こり、動作が不安定になる可能性があるため、スクリーンセーバーは使用しないでください。

以下の操作でスクリーンセーバー「なし」に設定できます。

1. 「DAQOPCUSER」で、ログオンします。
2. スタートメニューの**設定>コントロールパネル**を起動します。
3. 画面を選択し、「画面のプロパティ」を開きます。
4. 「スクリーンセーバー」タブページの「スクリーンセーバー」で、「(なし)」を選択し、「OK」をクリックします。